

第 2・3 学年 総合的な学習指導略案

2 学年女子 2 名 3 学年男子 2 名 計 4 名
指導者 福塚裕美 大郷謙一郎 玉城智代

1 単元名 日本復帰 50 周年を迎えて（発表会をしよう）

2 本 時（ 32 / 32 ）

（ 1 ）本時の目標

各自の研究内容やまとめたことを個々に工夫し発表することができる。

発表会を通し、相互に意見交換し郷土奄美の一員としての自覚をもって郷土を愛し、その発展に努めようとする。

（ 2 ）本時の実際 （ 人権同和教育 ～ 表現力を高める指導（中） ラスト 15 分 ）

過程	主 な 学 習 活 動	時間	指導上の留意点	準備・資料
展開	（日本復帰の歌を歌う） 1 学習目標を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 各自の研究内容やまとめたことを発表し、意見交換をしよう。 </div> 2 学習活動の流れを確認する。 ・ 各自研究内容やまとめについてどのように発表すればいいか考える。	5 分	学習意欲を高める。 発表の方法、発表時間、意見交換の仕方等について確認させる。	・ 歌詞 ・ 伴奏テ - プ ・ 総合的な学習のファイル ・ スクラップ ・ まとめの冊子
	3 発表の準備や練習をする。	5 分	机間指導をし、個々に激励・支援する。 大きな声で自信をもって発表できるように支援する。	・ アドバイスカ - ド
	4 発表をする。	15 分		
5 意見交換をする。	20 分	自分達の体験をもとに、相互に練り合い、高め合い、認め合いながら意見交換ができるよう、激励・支援する。 発表及び意見交換の仕方や研究方法等についてアドバイスを行う。		
終末	6 学習についての評価を行う。 ・ アドバイスカ - ドをもとに各自の反省をする。 ・ 次時の学習の確認をする。	5 分	・ 評価カ - ド・に記入させ、発表させる。 ・ 各自の発表へのねぎらいとこれまでの学習取り組みについて激励・賞賛する。	・ 評価カ - ド

（ 3 ）評価

各自の研究内容やまとめたことを個々に工夫し発表することができたか。

発表会を通し、相互に意見交換し郷土奄美の一員としての自覚をもつことができたか。

